

資料6 環境関係表彰受賞者

1 平成23年度環境保全功労者等の表彰(環境大臣表彰 平成24年1月)

- (1)受賞者 リサイクル推進ネットワークひまわり(甲斐市) 地域環境保全功労者表彰
 こぶち消費生活研究会(北杜市) 地域環境保全功労者表彰
 道志村商工会女性部(道志村) 地域環境美化功績者表彰

(2)功績概要

- ・リサイクル推進ネットワークひまわり
 平成6年から遊休品や手作り廃油石けん、古紙再生トイレットペーパー、EMぼかし、竹炭等の環境に配慮した品を取り扱うリサイクル常設店を設置し、リサイクル活動を中心とした環境活動を16年間実施している。
- ・こぶち消費生活研究会
 昭和51年から「生活改善」を目指して、廃油を利用した石けんや自然食品作り等を定期的実施し、省資源・省エネルギーに取り組むとともに、地域の商工会と連携しマイバッグ運動を実施し、ごみの減量化に努めている。
- ・道志村商工会女性部
 平成18年度から道志村の環境美化・観光振興を推進するため、村の観光スポットである「道志の湯」へと通じる道の国道分岐点付近に、新たに花壇を整備した。近隣の中学校生徒への環境教育にも貢献している。

2 山梨県環境保全功績者表彰(知事表彰 平成23年6月)

- (1)受賞者 個人:なし
 団体: 笛吹市立御坂東小学校(笛吹市)
 山梨県立日川高等学校生物化学部(山梨市)
 兜山の森連絡会議(笛吹市)
 入山川を美しくする会(富士吉田市)
- (2)受賞理由 多年にわたり、地域の環境保全活動に尽力するとともに環境保全思想の普及・啓発に努め、地域の模範となっている。

3 平成23年度緑化功労者表彰(林野庁長官賞 平成24年5月)

- (1)受賞者 深沢 岩夫(早川町)

(2)功績概要

深沢岩夫氏は、終戦直後の荒廃したはげ山の現状を憂い、地域に大切な緑をとり戻そうと造林業の道へ進んだ。以降、地域の山林、特に公益性の高い保安林や県有林等を中心とした森林の造林保育に積極的に関わり、手がけた造林面積は約600haに及んでいる。それらの植林地は現在ではカラマツやヒノキを主体とした優良な造林地となっている。

このように、水源のかん養、土砂流出防止等の公益的機能が高い森林を造成することに多大に貢献した氏の功績は、高く評価され他の模範となるものである。また、近年、木材価格の低迷などにより、林業をとりまく状況が厳しい中、緑豊かな県土を守っていくために、長年にわたって培われた優れた技術力をもって、自ら先頭に立ち、造林地の健全育成に努め、次代の山を担う後進への指導にも力を注いでいる。

4 平成23年度全日本学校関係緑化コンクール表彰

(国土緑化推進機構理事長賞 平成24年5月)

(1)受賞者 笛吹市立御坂西小学校

(2)功績概要

御坂西小学校が行っている緑化活動は、平成10年に当時の校長の発案から始まり、現在まで綿々と継続されている。ベランダに設置された165基のプランターに、4～9月にはサフィニア、10月～3月にはパンジーを植え、四季を通して花いっぱい校舎を実現している。児童は、花の水やりを日課とし、日々環境緑化の必要性を実体験で学んでいる。また教員は、播種・プランターへの定植等の作業に直接携わることで、児童への指導をより具体的なものとしている。本活動は児童・教員だけで行っているものではなく、保護者の協力も必要不可欠なものとなっており、夏休みの時期には、児童の他にPTAが“フラワーボランティア”として協力し、水やりを行っている。このように、本活動は、学校内での単なる環境緑化活動にとどまらず、地域一体となって活動しているものであり、地域社会の関係を濃密なものとしている。

5 平成23年度全国育樹活動コンクール(国土緑化推進機構理事長賞 平成23年11月)

(1)受賞者 (特)自然とオオムラサキに親しむ会

(2)功績概要

北杜市は国内有数の国蝶オオムラサキの生息地である。しかし、近年里山の荒廃が進み、オオムラサキの生息環境の悪化からその生息数が急激に減少している。

同会は、昭和54年に地元青年会や自然愛好家が結成した「山梨国蝶オオムラサキを守る会」を基に、さらなる幅広い保護活動を展開しオオムラサキの棲める森づくりを目指そうと、平成8年に設立。以来、手入れの行き届かない民有林の整備や、オオムラサキの餌となるエノキとクヌギ等の広葉樹を植樹するなど里山再生活動を積極的に行っている。

会員数30名が、毎週水曜日と土曜日に定期活動を行う他、春と秋の年2回、一般ボランティアを募り植樹等の森づくりイベントを開催している。最近では、地元北杜市住民のみならず、賛同する企業社員や都市部の住民も参加する活動に発展し、これまでの整備面積は10ヘクタールを超え、1万本以上の広葉樹を植樹している。

6 平成24年度用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者

(国土緑化推進機構理事長賞 平成24年5月)

(1)受賞者

功刀 崇斗(甲斐市立双葉東小学校) (応募時学年:1年)

澤田 愛子(山梨学院大学附属小学校) (応募時学年:5年)

内田 佳那(学校法人 駿台甲府学園 駿台甲府中学校) (応募時学年:3年)

7 平成23年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰

(リデュース・リユース・リサイクル推進協議会長賞 平成23年10月)

(1)受賞者 有限会社峡南環境サービス

(2)功績概要

昭和62年から地元の中学校と共に有価物の回収活動を行い、長年にわたり地域において環境活動を実践している。また、平成15年から木くずの処分業を創業し、平成20年には総合リサイクルプラントを立ち上げ、現在では年間約3500トンの木くずを破砕処理し、再生紙原料や合板原料としてリサイクルしている。さらに、これまで焼却処分をしていた混合型の「廃プラスチック類」「木くず」「紙くず」「繊維くず」を石炭代替燃料(RPF)に変えて製造する取り組みは、最終処分される廃棄物の減少と省エネルギー化、埋め立て処分場の延命に貢献している。